

ラプラプセブ国際大学は世界で活躍できる高度人材の育成を目標に掲げるセブの国際大学です。留学生専用のプログラムで英語や異文化に対する理解を深めます。



ホームページで
詳細をチェック!



紹介ページ

心に残った現地体験

廣政 美希さん 教育学科 初等教育専攻 4年

スラム街で孤児たちとゴミ拾いをするボランティア活動が、今でも忘れられません。私は11歳の女の子とペアになり、大きなゴミを拾った時に「Nice~!」とはしゃいだり、写真や動画を撮って遊んだり、短い時間でしたが楽しい時間を過ごしました。たった数時間でも、言葉や文化を超えて心が通じ合い、別れの時には思わず涙がこぼれました。この出来事は、留学したからこそ得られた大切な思い出です。

会話のすべてを聞き取れなくてもニュアンスから意味を推測する力や、完璧でなくても伝えようとする勇気を持つことで、コミュニケーションへの自信が生まれました。自分から話しかけることも得意になり、さまざまな国の友人ができました。留学で得た経験が、今の行動力につながっていると実感しています。

留学日記を書いたら、
思い出が鮮明に残った!



▲ボランティア活動を行ったスラム街(セブ市内)

広がった人脈と世界

松島 美雨さん 心理学科4年

多くの新しい出会いがありました。フィリピン人だけでなく、東京・大阪・九州など、さまざまな地域の学生や、日本の大学に通う韓国人、これまで話す機会がなかった文芸生ともつながりができました。

仲良くなった人たちは、大型ショッピングモールで買い物をしたり、ポホール観光ツアーに行ったりしました。現地で過ごした思い出は今でも色あせることなく、帰国後も頻りに連絡を取り合っています。年代もさまざまですが、年齢を気にせず、トレンドや旅行の話題などで盛り上がっています。

最近では、県外の友人が広島を訪れた際に私が案内することもありました。今度は私が県外の友人を訪ね、案内してもらう約束をしています。こうした交流が、帰国後も続いていることをうれしく感じています。

トリートメントや常備薬を
持っておくと安心!



人気観光地ポホール島の
チョコレートヒルズ▲

留学で大きく成長

藤山 敦史さん 人間栄養学科3年

現地の授業は英語で進むため、最初はほとんど聞き取ることができず不安でした。しかし、回数を重ねるうちに英語に慣れ、後半には「分かる!」と感じる瞬間が増え、自信につながりました。

現地では、食文化や人々のテンションの違いにも驚きました。フィリピン料理は油が多かったり、スイーツは甘さが強かったりしましたが、実はお米が主食のため、日本と似ているところもあると感じました。観光ツアーでは音楽が流れるとすぐに踊りが始まり、明るくエネルギッシュな雰囲気を体感しました。特に、ビーチで出会った家族のパーティーに参加させてもらったことは、印象に残る思い出です。

留学を通して、英語力だけでなく、行動力や適応力も身につきました。挑戦して本当に良かったと思います。

現地の食事も
楽しみの一つでした!



▲ハロハロ(デザート)
日本との交流の中で誕生したという説も

学ぶのは英語だけではなかった

神林 秀吉さん グローバルコミュニケーション学科3年

異なる文化や価値観を持つ人々と過ごした18週間は、とても刺激的でした。たとえば、支払いの際には値段交渉をする場面が多くあります。特に一部交通機関では、正規の料金やルートを知っておかなければ、本来より高い料金を提示されることもありました。一方で、運転手との接し方や交渉の仕方によっては、料金が安くなることもあり、フィリピンの文化に驚きました。

休日には、フィリピン人の友達と映画を見たり、人生や日常の出来事についてたくさん話したりして過ごしました。うまく話せないこともありましたが、あきらめずに挑戦し続けたことで、実践的な英語力が向上しました。特に、スピーキング力とリスニング力が自分でも驚くほど伸びました。

このような日々を過ごしたことで、失敗を恐れず積極的に行動し、留学前よりも自分の意見などを発言できるようになりました。今後はさらに視野を広げるため、ワーキングホリデーに挑戦してみたいです。

日本のお菓子は、現地の
学生にとっても人気!



マクタンジュラインにある
英雄ラブ=ラブ像の前で▼

広島文教通信

HIROSHIMA BUNKYO NEWS

vol.
91

2026年(令和8年)
4月2日



contents

メッセージ	学校法人武田学園 武田 義輝 理事長 広島文教大学 森下 要治 学長
記事	ホームページ学科ニュース紹介
特集	広島文教大学 海外姉妹校 ラプラプセブ国際大学 留学した学生にインタビュー
ランキング	広島文教大学のランキング
メディア	中国新聞キャンパスリポーター
祝	学生表彰





学校法人武田学園
理事長 武田 義輝

学生時代にしかできないことを

今年も本学園に新しい学生を迎える季節となりました。新入生の皆さん、ご入学を心よりお祝い申し上げます。これから始まる4年間は、皆さんの人生にとって大きな意味を持つ貴重な時間です。新しい知識を学び、人と出会い、自分自身の可能性を広げていく大切な時期でもあります。どうか失敗を恐れることなく、さまざまなことに積極的に挑戦してください。私は日頃から「強み」という言葉をよく口にします。人はどうしても、自分ができることや弱い部分に目を向けがちです。しかし、自分にはどのような強みがあるのかを見つめ、また他者の強みにも目を向けることは、社会の中で生きていくうえで非常に重要なことです。強みには三つの条件があります。第一に、そのことが自分にとって好きであること。第二に、他の人よりも優れていること。第三に、それによって組織や社会に貢献できることです。自分の強みをすぐに見つけられる人もいれば、そうでない人もいます。しかし、自分の強みを認識するためには、何よりも多くの経験を積むことが大切です。学生時代には、勉学に励むことはもちろん、部活動やアルバイト、海外留学などにもぜひ挑戦してください。学生という立場だからこそ経験できることが数多くあります。そうした経験の積み重ねが、皆さん自身の可能性を大きく広げていくはず。皆さんのこれからの4年間が実り多いものとなり、本学園での学びを通して大きく成長されることを心より祈念しています。



広島文教大学
学長 森下 要治

読んで、動いて—充実した学生生活のために

今年もまた、文教の新しいお仲間を迎える季節となりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、新年度を迎えて一つ学年の進んだ在学生のみなさんにも、進級の慶びをお伝えします。みなさんは宮本常一(みやもとつねいち)という人を知っていますか。山口県周防大島生まれの、日本の民俗学を代表する研究者です。宮本が1960年に発表し、岩波文庫に収められて今でも気軽に手に取ることができる「忘れられた日本人」は、日本各地の庶民の暮らしや言い伝えを生きたと記述し、日本社会の古い伝統が今も各地に息づいていることを掘り起こした、日本民俗学の記念碑的な著作です。このような著作が可能であったのは、彼が日本中を歩き、人々の暮らしをしっかりと見て、人々の言葉に耳を傾けたからです。そして、それによって得られた知見を「古い伝統」と照合できるだけの驚嘆すべき読書量と、それに裏打ちされた確かな表現力があったからです。旺盛な行動力と読書の力がどれほど豊かな成果を生み出すか—宮本常一の著作は、身をもってそれを教えてくれます。みなさんは本を読んでいますか。本を読むことは、机上の活動だけで完結するものではありません。しっかりと行動し、たっぷり読んで、充実した学生生活を送られることを期待しています。

2025(令和7)年度 学生表彰者一覧

学術活動において、特に顕著な成績を挙げたと認められる者

- 山本 和歌菜さん (教育学科 初等教育専攻)
- 金子 紗奈さん (人間福祉学科)
- 本田 明日香さん (心理学科)
- 田村 彩乃さん (人間栄養学科)
- 伊名波 真央さん (グローバルコミュニケーション学科)

課外活動において、特に優秀な成績をおさめ、課外活動の振興に功績があったと認められる者

- 岡本 爽来さん (教育学科 初等教育専攻) 卒業生との合同団体「文教太鼓・仁」の一員として「けんみん文化祭ひろしま・和太鼓フェスティバル」に出場し、第2位となる優秀賞を受賞した。

中国新聞キャンパスリポーター

掲載記事(2025年～)	
里山整備士招き森林観察 ～裏山の樹木間伐効果考える～ ✍️ 下種 里奈さん	新入生ら可部のまち散策 ～キャンパス周辺 魅力味わう～ ✍️ 萱嶋 杏さん
高陽・白木の活性化案報告 ～地域住民と検討重ねる～ ✍️ 萱嶋 杏さん	「フードロス0」へ一役 ～賞味期限近の食品配る～ ✍️ 原野 楓さん
サッカーやバスケットで交流 ～小中生らと汗 夜には花火も～ ✍️ 原野 楓さん	SDGs 住民と考える ～衣・食・住・車 身近なテーマ～ ✍️ 原野 楓さん
SDGs 研 祭り盛り上げ ～住民にお手製豚汁クイズも～ ✍️ 萱嶋 杏さん	シャレオでコンサート ～ピアノ連弾や合唱熱演～ ✍️ 下種 里奈さん

卒業インタビュー

キャンパスリポーター 下種 里奈さん
グローバルコミュニケーション学科(2026年3月卒業)



挑戦のはじまり

イベントが好きで私にとって、その魅力を多くの方に発信できることに魅力を感じ、挑戦してみようと思いました。自分が書いた記事が新聞に掲載され、それを家族や知人が見つけてくれる瞬間にやりがいを感じました。

広がった挑戦の舞台

取材活動を通して学内外でネットワークが広がり、さまざまな挑戦の機会にも恵まれました。その一つが、八木梅林公園で開催された春こい祭りでの司会です。楽しみながら会場を盛り上げることができた貴重な体験でした。

活動を通して得た学び

イベントは多くの人の支えによって成り立っていることを学び、行事の裏側まで意識するようになりました。キャンパスリポーターの経験で培った伝える力や主体的に行動した経験は、就職活動においても自信をもって語ることができました。

多くの評価を受けランクイン!

『大学探しランキングブック』

(大学通信/大学探しランキングブック 2026 より)

全国の高等学校の進路指導教諭が評価する大学

大学卒業後の進路

面倒見が良い大学

広島県内私立大学 **第1位**

2025年学部系統別実就職率

(教育系)

中・四国地区大学 **第1位**

入学後、生徒を伸ばしてくれる大学

広島県内私立大学 **第2位**

2025年実就職率

広島県内私立大学 **第3位**

ホームページ学科ニュース紹介

最新のニュースは公式HPよりご覧いただけます。
大学公式HP <https://www.h-bunkyo.ac.jp>



ご寄附について



各学校の教育・研究活動の充実、学園生への修学支援および施設設備の改善充実等を図る目的で、「武田学園教育振興寄附金」を募集いたします。経済情勢の厳しい折ではございますが、本募集活動の趣旨にご理解とご賛同をいただきまして、寄附金募集に何卒温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。※詳細はホームページをご覧ください。 <https://www.h-bunkyo.ac.jp/university/region/donation/> 財務報告につきましては、大学公式ホームページよりご確認いただけます。

<個人の方> 一口1,000円
(3口以上何口でもご寄附いただけます。)

<法人の方> 一口10,000円
(何口でもご寄附いただけます。)